

安全データシート

SDS-600-rev4 発行日: 2024年1月2日

ポリスチレンマイクロスフェア、球状およびボール

1. 物質の識別

1.1 製品名	ポリスチレンマイクロスフェア、球体、ボール
1.2 製品識別子	PSMS、PSS、PSB
1.3 使用目的	産業および研究用途
1.4 サプライヤーの詳細	: スタンフォード先端材料 23661 バーチャー博士 レイクフォレスト、CA 92630 米国
1.5 緊急電話	: +1 (949) 407-8904

2. 危険源の特定

2.1 危険有害性分類	危険物として分類されていません。な
2.2 ラベル要素	し。
2.3 他に分類されない危険	こぼれた物質は非常に滑りやすく、粉塵は刺激を引き起こす可能性があります。

3. 組成/成分情報

材料	CAS番号	% (重量/重量)
ポリスチレン	9003-53-6	> 99.9%

4. 応急処置

4.1 応急処置の説明

アイコンタクト	多量の水で洗い流してください。症状が続く場合は医師の診察を受けてください。症状
皮膚接触	が現れた場合は、石鹸と水で洗い流してください。
吸入	症状が現れた場合は、新鮮な空気のある場所に移動してください。必要に応じて医師の診察を受けてくださ
摂取	い。症状が現れた場合は、医師の診察を受けてください。

4.2 重要な症状/影響（急性または遅発性）

高濃度の粉塵を吸入すると呼吸器の炎症を引き起こす可能性があります。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

地域の状況や周囲の火災に適した消火措置を講じてください。

5.2 物質または混合物から生じる特別な危険性

不明。

5.3 消防士のための特別な保護措置

あらゆる火災の場合と同様に、自給式圧力要求型呼吸装置（NIOSH 認定）と完全な保護具を着用してください。

6. 偶発的な漏出に対する措置

6.1 個人的予防措置、保護具および緊急時の手順

この安全データシート（セクション 8）に記載されている安全な取り扱いのための注意事項に従ってください。

安全データシート

SDS-600-rev4 発行日: 2024年1月2日

ポリスチレンマイクロスフェア、球状およびボール

6.2 環境に関する注意事項

廃棄物は、連邦、州、地方、管轄当局の規定に従って処分してください。

6.3 封じ込めと浄化の方法と材料

こぼれた液体はシャベル、ほうきなどで集め、容器に移して廃棄してください。

7. 取り扱いと保管

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

粉塵の発生につながる取扱いは避けてください。高濃度の粉塵を吸入しないでください。職業上の暴露限度を遵守し、粉塵の吸入リスクを最小限に抑えてください。

7.2 安全な保管条件（不適合性を含む）

元の容器をしっかりと閉じて、乾燥した涼しい換気の良い場所に保管してください。

8. 暴露管理/個人保護

8.1 制御パラメータ

この製品は危険物ではありません。有害粉塵の曝露限界値を参照しています。有害粉塵（別途規制されていない粒子）

OSHA許容暴露限界（PEL）	呼吸可能な分画	5mg/m3
	総塵量	15mg/m3

8.2 エンジニアリングコントロール

粉塵の発生につながる取扱いは避けてください。曝露を防止または抑制するために、局所排気装置を使用してください。

8.3 個人保護措置（個人用保護具）

呼吸器の保護:	取り扱いによって粉塵が発生する場合は、物質の粒子サイズに適した呼吸用保護具を選択してください。
目/顔の保護:	化学ゴーグル。
皮膚の保護:	適切な保護服と手袋を着用してください。

9. 物理的および化学的性質

外観	様々な色の固体球体 製品仕様ごと
相対密度	と（約1g/cc）製品仕様ごと
軟化温度	
可燃性	可燃性固体
可燃限界	情報なし 427°C
自然発火温度	
分解温度	300°C
臭気	無臭
蒸気圧	情報なし

安全データシート

SDS-600-rev4 発行日: 2024年1月2日

ポリスチレンマイクロスフェア、球状およびボール

蒸気密度	情報なし 情報なし 情報
pH	なし 不溶性
融点	
水への溶解度	
初留点	情報なし 情報なし 該当
引火点	なし
蒸発率	
分配係数	情報なし 該当なし
粘度	

10. 安定性と反応性

反応性	強力な酸化剤と反応します。通常の使用条
化学的安定性	件下では安定です。スチレンを含む煙が発
危険な分解生成物	生します。

11. 毒性情報

可能性のある曝露経路	皮膚
------------	----

曝露の兆候と症状

アイコンタクト	目に直接触れると、一時的な機械的刺激を引き起こす可能性があります。症状としては、痛み、発赤などがあります。
皮膚接触	皮膚に直接接触すると、過敏症の方には感作を引き起こす可能性があります。症状としては、発赤、痛み、かゆみなどが挙げられます。
吸入	推奨暴露レベルを超えて吸入すると、咳などの呼吸器の炎症を引き起こす可能性があります。
摂取	誤って摂取する可能性のある量では有害な影響は予想されません。飲み込んだ場合、不快感を引き起こす可能性があります。

毒性データ

急性毒性	分類するには情報がありません/不十分です 分類する
皮膚腐食性/刺激性 重篤な眼の損傷/眼刺激性	には情報がありません/不十分です 分類するには情報がありません/不十分です 分類するには情報がありません/不十分です
呼吸器または皮膚の感作性 生殖細胞変異原性	分類するには情報がありません/不十分です 分類するには情報がありません/不十分です 発がん性物質として記載されていません (OSHA、NTP、IARC)
発がん性	分類するには情報が不足しています/分類できません
生殖毒性	分類するには情報が不足しています/分類できません
STOT-単回暴露	分類するには情報が不足しています/分類できません
STOT-反復暴露	分類するには情報が不足しています/分類できません
誤嚥の危険性	

安全データシート

SDS-600-rev4 発行日: 2024年1月2日

ポリスチレンマイクロスフェア、球状およびボール

12. 生態学的情報

毒性	情報はありません 情報
残留性および分解性 生体蓄	ははありません 情報はあ
積性 土壤中の移動性	りません 情報はありま せん

13. 廃棄に関する考慮事項

廃棄物は、連邦、州、地方、管轄当局の規定に従って処分してください。

14. 交通情報

この製品は危険物輸送規制（DOT、IATA、IMO）の対象外です。

15. 規制情報

この SDS は、米国 OSHA 危険有害性情報伝達基準 29 CFR 1910.1200 に準拠して作成されています。

16. EU REACH遵守宣言

上記の製品には、1000PPM を超える濃度の REACH SVHC 化合物は含まれていません。

17. その他の情報

この文書に記載されている情報は、発行日時点の当社の知る限りにおいて正確です。ただし、この情報はすべてを網羅したものではなく、あくまでも参考情報としてご利用ください。製品の特性を保証するものではありません。